

津山市スポーツ推進基本計画(第2期)  
中間考査

令和5年3月

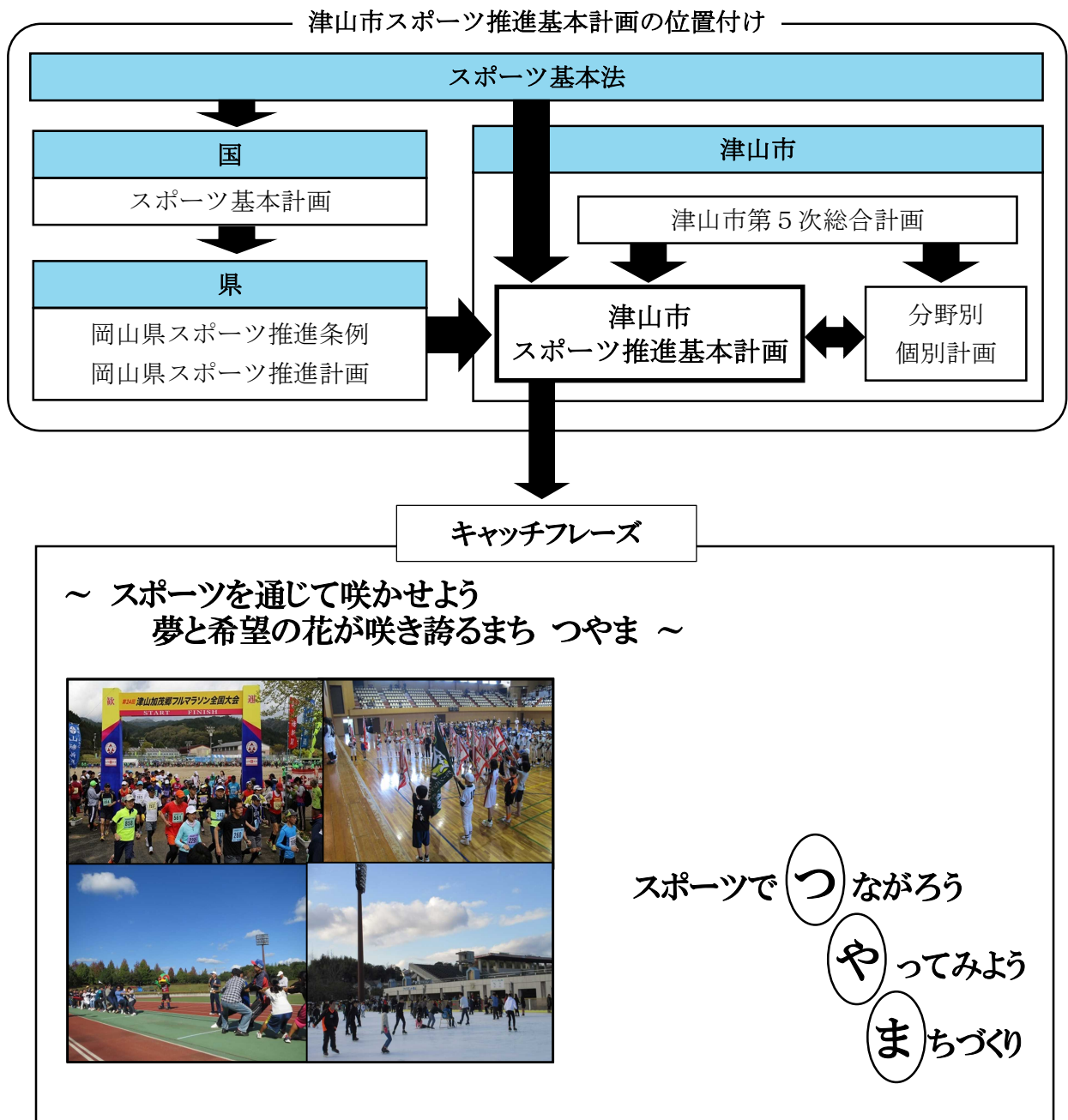


# 津山市スポーツ推進基本計画（第2期） 中間考査

## 1. 計画の位置付け

本市では津山市第5次総合計画（平成28年3月策定）及び津山市教育振興基本計画（第2期）（平成29年3月策定）において、「生涯スポーツの振興」「スポーツ環境の整備」「競技力の向上」の3つの基本政策を掲げ、『参加するスポーツ』『見るスポーツ』『ささえるスポーツ』を総合的に推進することとし、津山市第5次総合計画における総合的な成果指標並びに数値目標を定めました。

これを受け、スポーツを通じて、市民の誰もが健康で明るく活力のある生活が送れるまち、人と地域との交流を促し地域の一体感や活力が生み出せるまちの実現を目指して、平成30年3月に「津山市スポーツ推進基本計画(第2期)」を策定しました。



## 2. 中間考査の趣旨

本計画は平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間として、スポーツに関する施策を総合的に推進するために策定したもので、中間に当たる令和4年度に社会情勢やスポーツを取り巻く環境等を踏まえ、計画の進捗状況を検証・評価し、後期計画（令和5年度から令和9年度）において施策の推進が着実に実施できるよう取り組むものです。

津山市スポーツ推進基本計画(第2期) (平成30年3月策定)									
前期					後期				
H30	H31(R元)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
				中間 考査					

中間考査では前期4年間の取組実績と新たに生じた課題等を検証し、津山市スポーツ推進基本計画(第2期)に掲げた基本施策の4項目並びに、津山市第5次総合計画・後期実施計画(令和4年5月策定)で掲げた重点目標の達成に向け、後期5年間の取り組みについて目標を設定します。

基本理念	スポーツを通じて咲かせよう 夢と希望の花が咲き誇るまち つやま		
基本施策	具体的方策		
1 生涯スポーツの推進	(1) 関係団体との連携 (2) 指導者の育成と確保 (3) 「参加するスポーツ」「見るスポーツ」「ささえるスポーツ」の提供		
2 スポーツ環境の整備	(1) スポーツ施設等整備事業 (2) 利便性向上 (3) 学校体育施設の活用 (4) 指定管理の導入によるサービスの向上		
3 競技力の向上	(1) 優秀選手の育成と支援 (2) 指導者の育成 (3) スポーツ大会等の共催・後援 (4) スポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度の活用		
4 スポーツを通じた地域の活性化	(1) スポーツによる地域の活性化 (2) スポーツによる地域の活性化への取り組み		
キャッチフレーズ	スポーツで ㊦ながろう ㊧ってみよう ㊨ちづくり		

### 3. 中間考査

次の4項目について、前期期間中の進捗状況を検証・評価し、後期計画における施策推進の具体的な目標を設定します。

1	生涯スポーツの推進	3ページ～
2	スポーツ環境の整備	11ページ～
3	競技力の向上	14ページ～
4	スポーツを通じた地域の活性化	19ページ～

#### 1 生涯スポーツの推進について

##### 【取組状況】

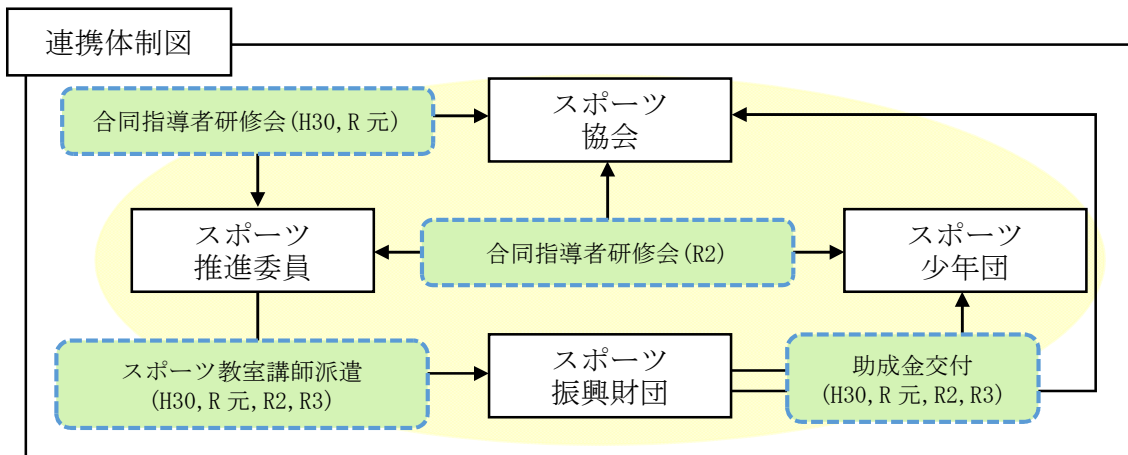
##### (1) 関係団体との連携

○スポーツ関係団体の体制強化の支援

団体名	支援の内容	決算額(千円)	
		年度	金額
スポーツ協会	津山市からの委託業務を通じて各種のスポーツ教室や行事に携わる指導者の育成を図るため財政的支援を行っている。	H30年度	10,033
		R元年度	10,033
		R2年度	10,033
		R3年度	10,033
スポーツ推進委員	中国地区や県単位で開催される研修会への参加など、推進委員としての指導力向上活動に対して財政的支援を行っている。	H30年度	408
		R元年度	263
		R2年度	0
		R3年度	15
スポーツ少年団	スポーツ少年団の活動支援と、指導者及び団員の育成を目的に補助金を交付している。	H30年度	1,218
		R元年度	1,218
		R2年度	1,218
		R3年度	1,218
スポーツ振興財団	スポーツ教室やスポーツ活動に対する顕彰など、生涯スポーツの推進活動に対して補助金を交付している。	H30年度	1,118
		R元年度	1,118
		R2年度	1,118
		R3年度	1,118

各団体に対して財政的支援を行い、体制強化を図っています。

○それぞれのスポーツ関係団体間の連携強化の調整



助成金交付などにより体制強化の支援を行い、また、合同研修会の開催などにより団体間の連携強化を図っています。

○スポーツ関係団体の実施するスポーツ事業支援

	スポーツ協会	スポーツ推進委員	スポーツ少年団	スポーツ振興財団
H30年度	地域スポーツ振興事業 「夢アスリートつやま」育成事業 晴れの国岡山駅伝競争大会派遣事業等	教室派遣事業	中学区及び単一種目団交付金 認定指導者育成交付金	津山スポーツ活動助成金
R元年度	地域スポーツ振興事業 「夢アスリートつやま」育成事業 晴れの国岡山駅伝競争大会派遣事業等	教室派遣事業	中学区及び単一種目団交付金 認定指導者育成交付金	津山スポーツ活動助成金
R2年度	地域スポーツ振興事業 「夢アスリートつやま」育成事業	教室派遣事業	中学区及び単一種目団交付金 認定指導者育成交付金	津山スポーツ活動助成金
R3年度	地域スポーツ振興事業 「夢アスリートつやま」育成事業	教室派遣事業	単位団交付金 認定指導者育成交付金	津山スポーツ活動助成金

各団体に交付金や助成金などを支給し、対象団体(者)の調査や市民ニーズとのマッチングなど、事業内容に合わせた支援をしています。

また、依頼に応じて講師派遣も行っています。

(2) 指導者の育成と確保

○研修会・講習会の実施支援

○専門性の高い指導者の養成支援

	スポーツ協会	スポーツ推進委員	スポーツ少年団	スポーツ振興財団
H30年度	指導者研修会 (モラルについて) スポーツ体験学習会	AED講習会	母集団講習会 (熱中症) 指導者講習会 (リズムジャンプ) 競技別審判講習会 (ミニバス・ソフト・サッカー)	津山市スポーツ指導者研修会

R 元年度	スポーツ指導者研修会 (救命救急講習) スポーツ体験学習会	中国地区スポーツ 推進委員研修会(主管)	母集団講習会 (熱中症) 指導者講習会 (リズムジャンプ) 競技別審判講習会 (ミニバス・ソフト)	—
R 2 年度	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	—
R 3 年度	「実践!グッドコーチング ・ジュニア編」配布	AED 講習会	競技別審判講習会 (ミニバス)	—

各団体において指導者の育成と確保を目的とした研修会や分野別の講習会等を実施しており、講師のリサーチや派遣依頼、会場の確保など、高い専門性や技術を有する指導者の養成に向けて、各団体を支援しています。

#### <本計画策定時の目標数値>

目標項目	基準数値 16,285	年度	会員・指導者数(人)
スポーツ団体の育成と確保 (会員・指導者数)		H30 年度	15,833
		R 元年度	15,933
		R 2 年度	14,581
		R 3 年度	14,454
	中間目標 17,100	R 4 年度	—
	最終目標 17,900	R 9 年度	—

### (3) 「参加するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の提供

#### ① 「参加するスポーツ」の提供

○スポーツ大会・イベントの開催の支援

主な事業参加者数の推移

	津山加茂郷 フルマラソン 全国大会	津山ふれあい ウォークラリー 大会	津山オリエン テーリング 大会	つやま市民 スポーツ祭	津山ふれあい ウォーキング 大会	早春 ウォーク in つやま	参加者合計 (人)
H30 年度	1,582	13	49	5,000	—	—	6,661
R 元年度	1,640	61	21	5,000	135	—	6,857
R 2 年度	中止	中止	中止	中止	—	—	0
R 3 年度	1 年延期	中止	—	1 年延期	—	—	0

※岡山県地方創生推進事業として令和元年度津山ふれあいウォーキング大会を開催した。

主な行事として津山加茂郷フルマラソン全国大会、つやま市民スポーツ祭などを開催していますが、つやま市民スポーツ祭の参加者は減少傾向にあります。

○スポーツ教室の実施及び開講の支援

教室受講者数の推移（津山スポーツ振興財団実施）

		ふれあい グラウンド ・ゴルフ教室	ふれあい ニュースポーツ 教室	エンジョイ・ ニュースポーツ 教室	にこにこ体力 トレーニング	チャレンジ クラブ	ファミスポ クラブ	加茂にこにこ 体力 トレーニング	加茂 ソフトテニス 教室	教室 受講者 合計
H30 年度	前	230	260	76	816	448	78	180	150	3,962
	後	220	270	28	696	456	54			
R元 年度	前	260	260	80	852	488	42	150	—	4,022
	後	230	280	64	756	488	72			
R2 年度	前	中止	中止	中止	中止	中止	中止	—	—	192
	後	150	中止	42	中止	中止	中止			
R3 年度	前	138	中止	中止	中止	中止	中止	—	—	322
	後	184	中止	中止	中止	中止	中止			

主な教室としてにこにこ体力トレーニング、チャレンジクラブなどを開催しています。参加者は一定の人数を確保しており増減はほぼ無い状況にあります。

<本計画策定時の目標数値>

目標項目	基準数値 4,680	年度	教室参加者数(人)
スポーツ教室への参加 (教室参加者数)		H30年度	3,962
		R元年度	4,022
		R2年度	192
		R3年度	322
	中間目標 4,890	R4年度	—
	最終目標 5,100	R9年度	—

○体育館の空き時間を利用したモーニングスポーツの実施

実施実績（津山スポーツ振興財団実施）

（表1）

	卓球	バドミントン	ピククルボール	参加者合計(人)
H30年度	1,018	81	—	1,099
R元年度	552	2	670	1,224 ※1
R2年度	335	0	369	704 ※2
R3年度	316	0	292	608

※1 R2.1～R2.3 アリーナ改修工事のため休館

※2 R2.4～R2.6 コロナウイルス感染症対策のため休館

毎週火曜日と金曜日の体育館の空き時間を利用して卓球やピククルボールなどのスポーツの場を提供しています。

## ②「みるスポーツ」の提供

### ○プロスポーツチームの支援や試合の誘致

	トライフープ 岡山	岡山 リベッツ	岡山 シーガルズ	ファジアーノ 岡山	岡山湯郷 ベル	吉備国際大学 シャルム
H30 年度	—	—	—	—	—	—
R 元年度	—	—	—	—	—	—
R 2 年度	8 試合	—	—	—	—	—
R 3 年度	4 試合	3 試合	—	—	—	—

※岡山リベッツはTリーグとして男子2試合女子1試合を開催

令和2年にトライフープ岡山（バスケットボール）が津山市をホームタウンとして活動を開始し、公式戦を行いました。最終的なリーグ成績は令和2年で3位、令和3年で5位という成績でした。また、岡山リベッツ（卓球）が令和3年から公式戦を行うこととなり、岡山中で初となる女子リーグの試合も行われました。

### ○津山加茂郷フルマラソンにおける選手との交流

	私設の 沿道もてなし テント	沿道での 応援	中学生に よる接待	会場内 もてなし テント	温泉 チケットの 配布
H30 年度	6 箇所	有	ボランティア 参加	選手交流 広場開設	有
R 元年度	6 箇所	有	学校行事 全員参加	選手交流 広場開設	有
R 2 年度	中止				
R 3 年度	1 年延期				

選手との交流を深めるため、町内有志や商工会によるもてなしテントの設営や、中学生による接待などを行っています。

### ○その他プロ選手との交流（図書館で実施）

	トライフープ 岡山	岡山 リベッツ	岡山 シーガルズ	ファジアーノ 岡山	岡山湯郷 ベル	吉備国際大学 シャルム
H30 年度	—	—	—	—	1 回	—
R 元年度	(中止 1)	—	—	—	(中止 1)	—
R 2 年度	1 回	—	—	—	—	—
R 3 年度	1 回	—	—	—	1 回 (中止 1)	—

H30 年度：選手による絵本の読み聞かせ

R 2 年度：選手による絵本の読み聞かせとリズム体操

R 3 年度：コーチとチアダンスチームによる絵本の読み聞かせとリズム体操（トライフープ岡山）  
選手のおすすめ本紹介展示（岡山湯郷ベル）

図書館では定期的にプロスポーツ選手による絵本の読み聞かせやリズムダンスを行い、選手と子ども達の交流を図っています。



○特に優れた選手による講演会や技術指導会

	トライフープ 岡山	岡山 リベッツ	岡山 シーガルズ	ファジアーノ 岡山	岡山湯郷 ベル	吉備国際大学 シャルム
H30 年度	—	—	—	—	—	—
R 元年度	—	1 回	—	—	—	—
R 2 年度	—	1 回	1 回	—	—	—
R 3 年度	—	—	1 回	—	—	—

阿波地域において岡山リベッツによる卓球教室が開催され、地域住民との交流を深めています。また、市内小学校においてシーガルズによるバレーボール教室も開催されています。

③「ささえるスポーツ」の提供

- スポーツ大会・イベントへのボランティア参加の促進
- つやま市民スポーツ祭へのボランティア参加の促進
- 津山加茂郷フルマラソンへのボランティア参加の促進
- ボランティアの参加促進に向けた情報発信

	つやま市民スポーツ祭	津山加茂郷フルマラソン
H30 年度	3 3 5 人	7 9 0 人
R 元年度	4 0 1 人	8 2 0 人
R 2 年度	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
R 3 年度	(新型コロナウイルス感染拡大により延期)	(新型コロナウイルス感染拡大により延期)

つやま市民スポーツ祭及び津山加茂郷フルマラソンへのボランティアの参加者が増加しています。

【課題及び検証・評価】

(1) スポーツ大会・イベントの開催の支援について

つやま市民スポーツ祭について、陸上競技協会主管の「リレーカーニバル」、相撲連盟主管の「ちびっこ相撲秋場所」を主軸とし、その他の様々な競技を運動会形式で行っており、参加者の多くはスポーツ少年団員及びその関係者に依るところが大きく、競技内容についてもマンネリ化しているため、参加者は年々減少傾向にあります。今後、一般参加者の増加を見込むためには大幅な内容の見直しを図る必要があります。

『津山ふれあいウォークラリー大会』、『津山オリエンテーリング』、『早春ウォーク in つやま』については、実施団体の構成員の高齢化、構成員数の減少等に伴い現在行われていないため、3大会を一つにするなどし、新たな展開を図っていく必要があります。

(2) スポーツ教室の実施及び開講の支援について

ふれあいグラウンドゴルフ教室、ふれあいニュースポーツ教室、エンジョイ・ニュースポーツ教室、にこにこ体力トレーニングについては参加者が固定化し、若い年代の参

加がありません。今後は30代から50代が参加しやすい教室作りが必要と思われます。  
(表2)

チャレンジクラブ、ファミスポクラブについては低年齢層を対象にしているため、年度ごとに参加者の入れ替わりがあり、保護者も一緒に運動をすることで30代から50代の運動習慣に結びつけることができる可能性があります。30代から50代のスポーツの実施率を上げていくことが出来れば、国のスポーツ基本計画の週1回以上のスポーツ実施率が65%程度、週3回以上のスポーツ実施率が30%程度の目標に近づけるのではないかと思います。

○ 教室参加年齢層 (R元) (津山スポーツ振興財団実施) (表2)

	ふれあい グラウンド ゴルフ教室	ふれあい ニュースポーツ 教室	エンジョイ・ ニュースポーツ 教室	にこにこ体力 トレーニング	チャレンジ クラブ	ファミスポ クラブ
1期	68才 ～	59才 ～	59才 ～	59才 ～	5才 ～	6才 ～
	90才	83才	78才	85才	7才	8才
2期	66才 ～	62才 ～	60才 ～	60才 ～	5才 ～	6才 ～
	83才	83才	81才	86才	7才	8才

### (3) 体育館の空き時間を利用したモーニングスポーツの実施について

令和元年度、新たにニュースポーツのピククルボールを取り入れたことにより参加者が増加しています。(表1) 6ページ) モーニングスポーツについては、今後も魅力ある新たなニュースポーツを随時取り入れながら新規参加者を増やしていく必要があります。

### (4) 学校部活動の地域移行への対応について

少子化が進む中、将来にわたりスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁が示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、地域での持続可能な活動環境を整備する必要があります。

## 【今後の取り組み】

生涯スポーツの推進にあたり、市民の健康づくりや体力づくりには、スポーツ大会・イベント・スポーツ教室等、行政による継続的な「市民一人ひとりが気軽にスポーツに親しめる機会」の提供が不可欠です。また、参加者の満足度とともにリピート率を上げることも重要となってきます。市の保有する様々なデータを分析・活用し、必要に応じて市民を対象としたスポーツに関する意識調査等も行い、現在、参加者の少ない年代のニーズ等を的確に把握し、他課との連携も交えながら、それぞれの年代層をターゲットとしたスポーツメニューの提供を図る事業の推進体制を確立します。

### (1) スポーツ大会・イベントの開催の支援について

1) つやま市民スポーツ祭については、マンネリ化や新型コロナウイルス感染防止の観点から大幅な内容の見直しを図り、また、一般参加者を増加させるための取り組みの強化を検討します。

①従来の運動会形式のプログラムを変更し、スポーツ協会の各種目団体がそれぞれ体験コーナーを設けるブース形式への変更を検討します。

②ブースでは種目団体による体験コーナーを備え、同時に団体や団体主催の教室PRを行うことを検討します。

③一般の参加者を増加させるためターゲット（スポーツをしていない子供やその保護者等）を明確化し、それに対応したプログラムを充実させます。

2) 今まで行われていたウォーキング3事業に代わる新たな事業を検討します。

①令和4年度にスポーツ祭で行った「スポーツチャレンジ in 津山」の活用を検討します。

②モーニングスポーツでの取り組みを検討します。

③民間活力の導入も検討します。

(2) スポーツ教室の実施及び開講の支援について

現在の教室の開講時間は、親子を対象とした教室以外は平日の午前中となっておりますが、30代から50代の参加しやすい時間を考えると、勤務終了後の夜間もしくは休日での開催を検討する必要があります。また、運動しやすい季節は平日、土曜日（午前）日曜日ともに各種団体利用や大会などで施設の利用予定のほとんどが埋まっており、利用しにくい状況となっております。（表3）

併せて、教室の回数（4回～10回）が固定されていることも参加しにくい要因の一つとなっていることなど、スポーツ教室のあり方全般について検討していきます。

①教室の開催は、参加しやすい曜日や時間帯を中心に検討します。

②ターゲット（年代等）を絞った教室の開催を検討します。

③健康増進課、医療保険課などと連携し、主要ターゲット（30代から50代）が参加しやすい教室開催を検討します。

④専門的知識が豊富な民間事業者への教室運営の委託を検討します。

(3) 体育館の空き時間を利用したモーニングスポーツの開催について

モーニングスポーツについては、現在、体育館の空き時間を利用して開催していますが、開催時間や内容（提供種目の充実）、参加者の減少対策など総合的に検討します。

○総合体育館アリーナ空き状況

(表3)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	× 休館日	× (MS)	○	○	× (MS)	×	×
午後		○	○	○	△	△	各種大会
夜間		△ 特定の教室あり	×	×	(7. 8. 11. 12月は△)	×	(7. 8. 11. 12月は△)

#### (4) 学校部活動の地域移行への対応について

学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向け、まずは休日における地域の環境整備を着実に推進するため、教育委員会や学校、保護者、その他関係団体と連携して、持続可能な体制を検討します。その際、学校部活動の教育的意義の継承・発展や、生徒の多様なニーズに応じた活動機会の提供などにも配慮した環境(体制)となるよう、きめ細やかな検討を行います。

## 2 スポーツ環境の整備について

### 【取組状況】【課題及び検証・評価】

現在の施設は昭和50年代から60年代に建築されたものが大半であり、老朽化が激しく修繕に係るコストが高くなってきています。大規模な改修にあたっては、スポーツ団体の意見や市民ニーズを勘案した整備を計画的に取り組むとともに、施設の老朽化に対しては、津山市公共施設マネジメント基本方針との整合を図りながら、安全性と緊急性を考慮しながら優先順位を定め実施しました。

#### (1) スポーツ施設等整備事業

##### ○全庁的なスポーツ施設の計画的な整備・改修

津山市全体に点在するスポーツ施設について各々の地域特性を活かせるよう、全体的な視点に立った整備・改修が必要となっています。地域における特色を活かすため、スポーツ施設全体の在り方を検討し、積極的な機能強化を図る必要があります。

##### ○大規模な施設整備

今現在(令和4年度)行っている加茂体育館の改修をはじめ、スポーツセンター野球場の改修や西部運動公園テニスコートの張替等、大規模な施設整備を予定しております。今後もスポーツ競技団体や市民ニーズに対応できるよう政策的な整備を行います。

また、スポーツ人口を増加させるためには各種大会等を誘致する事が必要だと考えます。各競技種目における大会開催に必要な条件(照明照度や観客席数等)をしつかり情報収集し、必要な改修を行い、多くの市民に質の良いスポーツを提供し、また交流人口の増加を目指す必要があります。

岡山県津山総合体育館と岡山県津山陸上競技場は、岡山県の施設(津山市が指定管理者)であり、施設の整備・改修については岡山県に要望をすることとなります。

津山陸上競技場は、第2種公認競技場として検定を5年ごとに受けており令和5年度検定を受ける予定です。今後も各種大会が開催できるよう機能の維持・強化について積極的に岡山県に働きかけを行う必要があります。

津山総合体育館では一定の収入が見込める興行イベント(プロスポーツ等)について、積極的に誘致を進めていきます。誘致(開催)に必要な改修及び備品等の整備について積極的に岡山県に働きかけを行う必要があります。

○安全性を重視し、ニーズに対応できる施設の整備と充実

今後、トイレ洋式化改修やLED照明への移行を行っていく必要があります。市有スポーツ施設のLED化改修工事については、令和5年度に実施予定です。

○津山市公共施設マネジメント基本方針に基づく改修の実施

令和2年度において、スポーツ施設の老朽化に対応する長寿命化計画として「津山市スポーツ施設改修計画」(※1)を作成し、改修を計画的に行うために必要な方針を示しています。前期の期間中の改修及び修繕並びに備品購入については(別紙1)21ページ)のとおりです。

※1 津山市スポーツ施設改修計画参照

## (2) 利便性向上

○インターネット等を利用した体育施設予約システムの利便性の向上とスポーツ施設の利用促進

	市HP改修	協会HP改修	推進委員HP改修	スポ小HP改修	財団HP改修	予約システム改修	電子申請利用
H30年度	—	—	—	—	—	—	—
R元年度	—	—	—	—	—	—	—
R2年度	—	—	—	—	—	—	—
R3年度	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	R5実施予定	実施済

令和3年度にてスポーツ課及び各種団体のホームページを大幅にリニューアルし、スマートフォンにも対応した設定をしたことによりアクセス件数が劇的に増加しました。(毎月30件程度→毎月3,000件程度のアクセスあり)。

今後、全庁的な施設予約システムの導入を検討しており、操作性や利便性向上に向け研究する必要があります。

○要望に応じた開館時間の延長検討

利用者の要望によりやむを得ない場合は、祝日開館や時間延長に対応しています。

○大規模な大会やイベント等に対応するための利用調整

毎年11月から翌年2月にかけて、恒常的にスポーツ施設を利用する団体と次年度の利用調整をしております。利用調整の方法についても令和3年度にルールを定め、安心して快適な利用ができるよう細かな調整をしています。

○様々なスポーツ用品の貸出 (件)

	ニュースポーツ						競技 スポーツ関係	その他
	グラウンド ・ゴルフ	ノルディック ウォーキング	ペタンク	ピックル ボール	ダ・ビンゴ	その他		
H30 年度	170	31	20	0	32	118	63	37
R 元年度	171	30	41	40	23	136	65	49
R 2 年度	118	2	10	35	6	35	32	9
R 3 年度	22	4	9	12	4	54	29	21

※ 競技スポーツ関係 … ソフトボール、サッカー、ソフトバレー、卓球、バスケットボール  
 ※ その他 …………… 輪投げ、縄跳び、玉入れ、ドッジボール等

所有するスポーツ備品の一般貸出については、インターネット等を利用し、貸出状況の確認や予約がスムーズに行えるよう対応を検討し、スポーツを親しむための環境整備に力を入れていく必要があります。

(3) 学校体育施設の活用

小学校や中学校のグラウンドや体育館など、放課後や土・日曜日などの学校が使用しない時間帯において、地域のスポーツ団体やスポーツ少年団など社会体育での活用を進めています。また、児童向け体操教室を学校体育施設の空き時間を利用して開催するなど学校体育施設の有効活用を図っています。

また、LED照明への移行に向けて、関係部局と協議をしていく必要があります。

(4) 指定管理の導入によるサービスの向上

民間への指定管理を導入し運営していましたがガラスハウスにおいては、令和2年度で指定管理での運営を終了し、民間活力を最大限活用する形 (PPP/PFI 方式) で事業者を選定し、令和4年5月からグローブスポーツドーム (Globe Sports Dome) による運営を開始しました (所管はスポーツ課から財産活用課へ移管)。

<本計画策定時の目標数値>

目標項目	基準数値 770,603	年度	利用者数(人)
スポーツの利用拡大 (年間利用者数)		H30 年度	814,485
		R 元年度	779,237
		R 2 年度	540,690
		R 3 年度	454,444
	中間目標 810,000	R 4 年度	—
	最終目標 850,000	R 9 年度	—

利用者の激減の理由として令和元年度途中から2年度までは、新型コロナウイルスの影響が大きな理由として挙げられますが、令和3年度についてはコロナに加え、ガラスハウスが運営を終了したことによるものが大きな要因となっていると考えます。

(5) その他

○施設のネーミングライツの公募

平成27年4月に津山市勝部のサッカー場を人工芝生化し、その完成に合わせてネーミングライツ制度を導入したことに伴い、令和3年4月にリニューアルオープンしたテニスコートもネーミングライツの公募を行い、収入源アップに取り組みました。

#### 【今後の取り組み】

- (1) 費用対効果や市民ニーズ等を十分検討した上で、利用者が安心して利用できる施設整備に努めます。
- (2) 利用者数のとらえ方として、今まではスポーツ等で施設を利用する人のみをカウントしていましたが、今後は、スポーツ等に関わるすべての人「スポーツをする人」、「みる人」、「ささえる人」を利用者数として数値化していきます。
- (3) 学校施設（小中学校体育館）のLED化に向けて、関係部局と設置に向けて協議をしていきます。
- (4) 令和2年度に施設の長寿命化施策として作成した「津山市スポーツ施設改修計画」のもと、今ある資源や地域の特性を鑑みながら、その地域の特色を活かして施設を整備し、施設の在り方を考えていくことが重要であり、プロスポーツや全国大会等においての開催条件(必要な設備・規格)に応じた機能強化を図り、安全・円滑・快適に競技が行えるよう取り組みを進めていきます。
- (5) スポーツ施設の維持管理については、使用料が運営費の一部になっていることを踏まえ、使用料の見直しやネーミングライツ等の収入増加への取り組みを進めていきます。今後も財源確保と施設の知名度やサービスの向上・地域活性化を図るため、民間事業者と連携し、取り組みを強化していきます。

### 3 競技力の向上について

#### 【取組状況】【課題及び検証・評価】

##### (1) 優秀選手の育成と支援

優秀選手の育成のために、全国大会などに出場する選手への激励会開催と激励金交付、スポーツ表彰による顕彰を行いました。また、マスコミ等を通じて市内外にその情報を発信し、啓発を行うことで、市民のスポーツへの気運の向上を図りました。

陸上競技、テニス、サッカー、水泳、空手、ソフトボールなど多種目にわたり競技力が上昇傾向にあります。また、その競技種目への加入を推進しました。

##### ①優秀選手育成事業

「夢アスリートつやま」育成事業実施状況（津山市スポーツ協会実施）

	団体	指導者（人）	受講者（人）
H30年度	4	37	113
R元年度	5	55	134
R2年度	4	39	85
R3年度	4	33	64

※「夢アスリートつやま」育成事業は主に小学生以上の競技者の競技力向上のためのスポーツ事業に対して助成を行うもの。

優秀な選手や指導者を育成するための選手育成事業の実施を支援しました。各競技団体の競技力向上を目的として行われていますが年々減少傾向にあります。

交付要件が少し厳しいとの意見もあり、要件を緩和する必要があると思われます。

## ② 激励会と激励金の交付

### ○ 激励会の開催

#### 激励会実績（津山市実施）

	激励金個人	激励金団体	激励会 開催数	激励会 人数	激励金交付 金額(円)
H30 年度	294 名	2 団体 (55 名)	10 回	116 名	1,730,000
R 元年度	288 名 (内世界大会 1 名)	3 団体 (69 名)	4 回	73 名	1,755,000
R 2 年度	50 名	5 団体 (122 名)	2 回	9 名	725,000
R 3 年度	124 名 (内世界大会 1 名)	10 団体 (164 名)	4 回	24 名	1,405,000

※激励金：市内に住所を有するか、市内に勤務先（学校）を有する全国大会以上（日本スポーツ協会等主催）の大会に出場した選手・監督及びコーチに対して交付する金員。

国際大会や全国大会に出場する優秀な選手に激励金の交付や激励会を実施し、競技者のスポーツへの意識を高め、更なる津山市の競技スポーツの推進と競技力の向上を図りました。

### ○ 激励会の周知

激励会の様子は、津山市のフェイスブックへ掲載するなど、各種メディアを始め、関係機関に協力をいただき、広く市民に広報しました。

## ③ スポーツ表彰の実施

### ○ 津山市スポーツ栄誉賞及び津山スポーツ振興財団スポーツ賞表彰の開催

#### スポーツ栄誉賞実施実績（津山市実施）

	栄誉賞	栄誉賞特別表彰	
H30 年度	1 団体	該当者無	※ 栄誉賞・・・国際大会において入賞以上又は全国大会等において優勝若しくは準優勝の成績を収めた個人又は団体を表彰するもの。
R 元年度	該当者無	該当者無	
R 2 年度	1 団体	該当者無	※ 栄誉賞特別表彰・・・国際大会、全国大会等に出場し、その卓越した活躍により津山市の名を全国に広めるなど、郷土の誇りとして深く敬愛するような功績を挙げた個人又は団体を表彰するもの。
R 3 年度	1 名	該当者無	



スポーツ賞実施実績（津山スポーツ振興財団実施）

	功労者賞	栄誉選手賞	優秀選手賞	優良団体賞
H30 年度	6 名	該当者無	4 名・1 団体	3 団体
R 元年度	2 名	2 名	2 名・1 団体	3 団体
R 2 年度	2 名	該当者無	2 名	3 団体
R 3 年度	該当者無	該当者無	1 名・1 団体	1 団体

※ 功労者賞・・・財団及び津山市スポーツ協会等の役員として、長年にわたりスポーツ振興に功績があった者又は優秀選手の育成指導に特に功績があった者等を表彰するもの。

※ 栄誉選手賞・・・オリンピック、パラリンピック若しくは世界大会に選手として出場した者を表彰するもの。

※ 優秀選手賞・・・国際的若しくは全国的大会において優勝若しくは特に優秀な成績を収めた者を表彰するもの。

※ 優良団体賞・・・スポーツの振興普及に功績があり、又は自主的活動によって顕著な功績を収めた団体を表彰するもの。

津山市や公益財団法人津山スポーツ振興財団により、指導者・競技者の一層の士気の高揚や市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ賞による顕彰を実施しました。

作陽高校の柔道部、女子サッカー部、男子サッカー部、ゴルフ部が対象になることが多く、倉敷に移転後について不安が残ります。津山工業高等専門学校の陸上部、ラグビー部は近年力を入れた指導が実り、好成績を残しています。

○顕彰事業の周知

顕彰事業の様子は、津山市のフェイスブックへ掲載するなど、各種メディアを始め、関係機関に協力をいただき、広く市民に広報しました。

(2) 指導者の育成

津山市スポーツ協会、津山市スポーツ推進委員協議会、津山市スポーツ少年団、津山スポーツ振興財団において、より高度な専門的知識と指導力を持つ指導者の育成のための研修会・講習会等を開催するとともに、それぞれの団体が連携を図りながらスポーツ指導者の資質向上を図りました。

○研修会等の実施状況

	スポーツ協会	スポーツ推進委員	スポーツ少年団	スポーツ振興財団
H30 年度	指導者研修会 (モラルについて) スポーツ体験学習会	AED講習会	母集団講習会 (熱中症) 指導者講習会 (リズムジャンプ) 競技別審判講習会 (ミニバス・ソフト・サッカー)	津山市スポーツ指導者研修会

R 元年度	スポーツ指導者研修会 (救命救急講習) スポーツ体験学習会	中国地区スポーツ 推進委員研修会(主管)	母集団講習会 (熱中症) 指導者講習会 (リズムジャンプ) 競技別審判講習会 (ミニバス・ソフト)	—
R 2 年度	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	合同スポーツ指導者 研修会 (コロナについて)	—
R 3 年度	「実践!グッドコーチング ・ジュニア編」配布	AED 講習会	競技別審判講習会 (ミニバス)	—

各年度・団体において研修会や分野別の講習会を実施しました。

○岡山県や岡山県スポーツ協会などと連携して研修会等を実施及び指導者の育成

	岡山県	岡山県スポーツ協会	岡山県スポーツ少年団
H30 年度	—	—	—
R 元年度	—	—	認定員養成講習会
R 2 年度	—	—	—
R 3 年度	—	—	—

岡山県スポーツ少年団と連携して講習会を実施しました。

○情報技術（IT）などの活用により、科学的な根拠に基づいた理論的な各種トレーニング法等についてのシステムづくり

	システムづくりの内容
H30 年度	具体的な取り組みはできていません
R 元年度	
R 2 年度	
R 3 年度	

○アンチ・ドーピングの教育・啓発を行う組織の整備

	組織整備の内容
H30 年度	具体的な取り組みはできていません
R 元年度	
R 2 年度	
R 3 年度	

### (3) スポーツ大会等の共催・後援

共催・後援実績（津山市・教育委員会実施）

	共催・後援（件）		（共催・後援） 津山市：広く市民を対象として市民福祉の増進並びに向上に寄与すると認められる行事・事業について承諾するもの。 教育委員会：市民の教育・学術・文化及びスポーツの振興に寄与すると認められる行事・事業について承諾するもの。 ※R2年度の機構改革によりスポーツ行政は教育委員会から市長部局へ移管
	津山市	教育委員会	
H30年度	26	73	
R元年度	36	60	
R2年度	27	—	
R3年度	54	—	

津山市及び津山市教育委員会として、市民やスポーツ関連団体が開催するスポーツ大会やイベントに対して共催や後援をすることで、スポーツの推進を図りました。

### (4) スポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度の活用

補助制度利用実績（津山市実施）

	利用団体数	利用人数	助成金額(円)
H30年度	33	2,740	2,532,000
R元年度	37	2,993	2,824,000
R2年度	13	900	2,574,000
R3年度	4	558	1,587,000

津山市へスポーツ大会や合宿を誘致し、市外の強豪チームや優秀な選手と競技・練習・交流することにより、豊かな競技経験や技術を有する市内の選手の育成を図るなど、補助制度の活用により、更なる地域スポーツの競技力向上に取り組みました。

#### <本計画策定時の目標数値>

目標項目	基準数値 394	年度	全国大会等の出場者数(人)
競技力の向上 (全国大会等の出場者数)		H30年度	349
		R元年度	357
		R2年度	172
		R3年度	288
	中間目標 420	R4年度	—
	最終目標 440	R9年度	—

### (5) 学校部活動の地域移行への対応について

少子化が進む中、将来にわたりスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、令和4年12月にスポーツ庁及び文化庁が示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、地域での持続可能な活動環境を整備する必要があります。

### 【今後の取り組み】

- (1) 競技力向上については、優秀な指導者の育成と確保が重要であり、引き続き、研修会などへ積極的な受講促進を図り、資格取得に対する補助制度等の拡充に努めます。
- (2) 優秀選手に対する激励と顕彰については、今後もマスコミなどを通じて積極的に市内外にその情報を発信し、啓発を行うことで、市民のスポーツへの気運の向上を図ります。
- (3) スポーツ大会や合宿を誘致する補助金制度を活用し、市内にスポーツ合宿や大規模なスポーツ大会を誘致することで、市外の優秀な選手や指導者等と競技を通じて交流を図ります。
- (4) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向け、まずは休日における地域の環境整備を着実に推進するため、教育委員会や学校、保護者、その他関係団体と連携して、持続可能な体制を検討します。その際、学校部活動の教育的意義の継承・発展や、生徒の多様なニーズに応じた活動機会の提供などにも配慮した環境(体制)となるよう、きめ細やかな検討を行います。

## 4 スポーツを通じた地域の活性化について

### 【取組状況】

#### (1) スポーツによる地域の活性化

評価項目なし

#### (2) スポーツによる地域の活性化への取り組み

##### ①地域スポーツ振興事業

○地域スポーツ振興事業（津山市スポーツ協会実施）

助成事業申請件数

	助成事業数(件)	事業内訳			
		阿波	加茂	勝北	久米
H30 年度	12	0	1	4	7
R 元年度	12	0	1	4	7
R 2 年度	12	0	1	4	7
R 3 年度	10	0	1	3	6

地域スポーツ振興事業は、津山市スポーツ協会が各地域の住民の体力向上・相互親睦を図るために行われるスポーツの継続を図ることを目的として、各種スポーツ大会・イベント等のスポーツ事業等に対して、1事業10万円を限度として助成しています。

○大会助成事業（津山スポーツ振興財団実施）

大会助成事業実績

	助成事業数(件)	助成金額(円)
H30 年度	5	500,000
R 元年度	5	500,000
R 2 年度	1	100,000
R 3 年度	1	100,000

大会助成事業は、津山スポーツ振興財団が、地域住民の健康増進とスポーツの普及・振興を図り、健康で活力に満ちた地域づくりに寄与することを目的として、スポーツ大会等の奨励と助成を行っており、スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団に関係するもので、1 団体につき 10 万円以内の助成金を支給しており、スポーツ振興の原資として利用されています。

②スポーツ大会やイベント等の開催・支援

大会・イベント助成事業（津山スポーツ振興財団実施）

助成申請実績

	助成事業
H30 年度	つやま市民スポーツ祭、津山武道祭、土庄町交流会 津山市中学生野球大会、晴れの国岡山駅伝競走大会
R 元年度	つやま市民スポーツ祭、津山武道祭、土庄町交流会 津山市中学生野球大会、晴れの国岡山駅伝競走大会
R 2 年度	津山市中学生野球大会
R 3 年度	津山市中学生野球大会

それぞれの地域で、子どもから高齢者まで、市民の誰もがスポーツに触れあい、スポーツによる人と人、地域と地域との交流が図られるよう、各種スポーツ大会やイベントの開催支援を行っています。

③スポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度の活用

大会・合宿補助事業（津山市実施）

事業実績

	利用団体数	利用人数(人)	助成金額(円)
H30 年度	33	2,740	2,532,000
R 元年度	37	2,993	2,824,000
R 2 年度	13	900	2,574,000
R 3 年度	4	558	1,587,000

補助金制度を利用することで、市外から多くのスポーツ大会や合宿を誘致し、交流人口や施設利用者の増加と宿泊の促進による地域経済の活性化を図っています。

#### ④スポーツ情報の発信・環境整備等

インターネットを利用した事業

	市HP 改修	協会HP 改修	推進委員 HP改修	スポ小 HP改修	財団HP 改修	予約シス テム改修	電子申 請利用
H30年度	—	—	—	—	—	—	—
R元年度	—	—	—	—	—	—	—
R2年度	—	—	—	—	—	—	—
R3年度	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	R6実施予定	実施済

##### ○インターネットを使った情報発信

スポーツ課、スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団に係るホームページを見やすいものに再構築し、ブログ等を活用してタイムリーな情報発信を行うよう変更しました。また、関係団体からの研修申込等は電子申請の利用を開始しました。

また、発出する文書については、二次元バーコード等を添付し、各団体のホームページで確認できるよう変更しました。

##### ○体育施設予約システムによる利便性向上と施設の利用促進

市ホームページに体育施設予約システムをリンクさせ施設予約の利便性の向上を図るとともに、事務所窓口にタブレット端末を設置し、予約希望者がその場で予約ができるようにしました。

また、新たな体育施設予約システムの導入を検討しています。

##### ○利用者の要望に応じた開館の延長などを検討

利用者の要望によりやむを得ない場合は、祝日の開館や時間の延長に対応しています。また、システム利用の集計等については、RPAを導入し、事務の効率化を図りました。

※RPA・・・ロボティック・プロセス・オートメーションの略語。人間がパソコンを使用して行う単純作業をソフトウェアのロボットが代替して自動化するシステムのこと。

##### ○市民皆スポーツを実現するための全庁的なスポーツ施設の計画的な整備・修繕

令和2年度において、スポーツ施設の老朽化に対応する長寿命化計画として「津山市スポーツ施設改修計画」を作成し、改修を計画的に行うために必要な方針を示しました。

##### ○学校体育施設の利用促進による地域スポーツの推進

小学校や中学校のグラウンドや体育館など、放課後や土・日曜日などの学校が使用しない時間帯において、地域のスポーツ団体やスポーツ少年団など社会体育での活用を進めています。また、児童向け体操教室を学校体育施設の空き時間を利用して開催するなど学校体育施設の有効活用を図っています。

<本計画策定時の目標数値>

目標項目	基準数値 14,004	年度	スポーツ大会への参加数(人)
スポーツ大会等への参加 (スポーツ大会等への参加数)		H30 年度	9,401
		R 元年度	9,850
		R 2 年度	900
		R 3 年度	558
	中間目標 14,700	R 4 年度	—
	最終目標 15,400	R 9 年度	—

(3) 新規の取組み

プロスポーツ誘致促進事業

プロスポーツ誘致補助実績 (津山市実施)

	件数 (件)	補助金額 (円)	利用団体 (補助回数)	観客人数 (人)	施設使用料 収入 (円)
R 3 年度	3	1,250,000	・トライフープ岡山 (2回) ・岡山リベッツ (1回)	1,415	1,782,432

岡山県をホームタウンとするプロスポーツチームを支援し、試合を開催することにより、見るスポーツの提供を行いました。(トライフープ岡山、岡山リベッツ、岡山シーガルズ、ファジアーノ岡山、岡山湯郷ベル、吉備国際大学シャルムの6チームが対象で、有料試合の開催のほか、地域貢献事業を行うことを条件としています。)

【課題及び検証・評価】

○ スポーツによる地域の活性化への取組みについて

① 地域スポーツ振興事業

地域スポーツ振興事業の申請件数が年々減少している中、コロナの影響等により、令和3年度は交付決定された事業が中止や延期となり、助成金の交付実績も減少しました。助成事業は、被助成団体から好評を得ており、事業の継続が求められていますが、参加者も少なく、スポーツに対するニーズが変化していることや、市町村合併に伴う旧体育協会の一本化により、編入町村ごとにあった旧体育協会が消滅し、地域ごとに行われていたスポーツ・イベント活動が激減したことも交付実績が減少している大きな要因の一つと考えます。

② スポーツ大会やイベント等の開催・支援

平成30年度より早春ウォーク in つやま、令和2年度より津山ふれあいウォークラリー、津山オリエンテーリング等のイベントの実施がありません。イベントが実施されなかった理由として、実施団体の構成員の高齢化、構成員数の減少等により、実施できない状態にあると考えます。

### ③スポーツ大会・合宿誘致事業補助金制度の活用

令和2年7月22日より、利用促進を狙い一時的に補助金額上限額の増額を行いました。また、コロナの影響により、令和2年度及び令和3年度の制度利用者数は大きく減少しました。

補助金事業は被交付団体から好評を得ており、事業の継続が求められていますが、地域経済の活性化には一定の効果は認められるものの、地域住民の活性化までには至っていません。

### ④スポーツ情報の発信・環境整備等

市ホームページの定期的な見直しや、SNSなど情報発信ツールの利用方法など、更に研究を深める必要があります。また、新たな体育施設予約システムの導入にあたり、キャッシュレス決済等、利便性向上に繋がる機能強化についても検討を行う必要があります。

## ○ 新規の取組み（プロスポーツ誘致促進事業）について

プロスポーツの試合観戦の提供や活動支援により、市民のスポーツに対する興味・関心の向上が図られ、スポーツによる地域活性化に繋がっています。また、補助金の交付条件である地域貢献事業は、市民に対して優れた選手の技術指導の機会提供、プロスポーツチームによる施設の利用件数増加、施設利用者数の増加に繋がっていますが、トライフープ岡山と岡山リベッツの2チームのみの利用となっており、今後は対象の6チーム全てが利用できるよう、スポーツ施設の改修や機能強化、補助金制度の改正などを行う必要があります。

また、地域貢献事業を全市に広げ、スポーツの振興に繋がっていきたいと思います。

### 【今後の取組み】

- (1) スポーツへの関心を高め、スポーツ人口を拡大させるため、多数の参加者（ささえ  
る）・観衆（みる）が見込めるプロスポーツチームによる試合を誘致し、身近でプロ  
スポーツに触れる機会（地域貢献事業）を提供します。
- (2) 補助金制度のPR方法などを見直し、大会や合宿を積極的に誘致します。また、観  
光事業等との連携を検討し、地域経済の活性化に取り組みます。
- (3) 参加者の少ないイベントや事業を整理し、地域振興に繋がる時代のニーズに即した  
新たな事業を検討します。
- (4) 情報発信力の強化を継続して行い、誰もがスポーツに関心を持つよう、情報通信技  
術（ICT）の利活用を促進します。



(別紙1) 「2」 スポーツ環境の整備について(11ページ) 関連

平成29年度～令和3年度 スポーツ施設 工事・修繕・備品購入 (津山市実施)

(単位:千円)

所管	施設名	年度	改修事業名	事業費
総合体育館	津山総合体育館	R元	㊦ アリーナ床面全面改修他	68,090
総合体育館	津山総合体育館	R元	㊦ 柔剣道場空調機更新工事	22,362
総合体育館	津山総合体育館	R元	㊦ バスケットボールゴール台	10,340
総合体育館	津山総合体育館	R元	バスケットボールゴール台及び関連備品	11,990
総合体育館	津山東体育館	R2	㊦ バスケットボールゴール更新工事	3,361
総合体育館	津山東武道場	R2	天井照明LED化修繕	1,573
総合体育館	福岡体育館	R元	畳改修修繕	4,981
総合体育館	グラスハウス	H29	高温熱気浴室改修修繕	2,235
総合体育館	グラスハウス	H29	シャワー修繕	1,296
総合体育館	グラスハウス	H30	流水プールポンプ交換修繕	1,209
総合体育館	グラスハウス	R元	遊泳プール大滝ポンプ取替修繕	1,126
総合体育館	グラスハウス	R元	屋外油管修繕	1,026
陸上競技場	津山陸上競技場	H30	㊦ 第2種公認更新に伴う改修工事	163,210
陸上競技場	津山陸上競技場	R元	㊦ 放送設備備品購入	3,993
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	㊦ 陸上競技場スタンド防水工事	47,850
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	㊦ 多目的広場漏水部給水管取替修繕	2,290
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	㊦ 芝刈機(ラッピングマシン付)備品購入	2,728
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	㊦ 合併浄化槽電磁流量計更新工事	2,497
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	㊦ 競技場消火配管漏水修繕	3,080
陸上競技場	津山陸上競技場	R2	山崎池浚渫工事	8,965
陸上競技場	津山スポーツセンター	H29	テニスコート他 カード式点灯盤取替	4,856
陸上競技場	津山スポーツセンター	R2	テニスコート人工芝張替修繕	63,800
陸上競技場	津山スポーツセンター	R3	テニスコートトイレ改修工事	2,228
陸上競技場	西部公園	R3	ソフトボール用移動式フェンス購入	2,200
加茂	加茂町武道館	R3	柔道場畳及び寄せ枠修繕	8,771
勝北	野球場	H29	野球場改修工事	17,215
勝北	プール	H29	プール壁補強修繕	3,996
勝北	電気設備	R2	受電高圧ケーブル張替工事	1,848
久米	市民プール	H29	プール排気ファン改修	4,200
久米	市民プール	H30	ウォータースライダーポンプ取替修繕	1,107
久米	市民プール	R元	空冷チラー給湯機修繕	1,485
久米	体育館	R2	体育館屋根他改修工事	33,986
久米	市民プール	R3	プール天井等修繕	11,231
久米	市民プール	R3	濾過器バルブ及び配管修繕	2,200
久米	市民プール	R3	ウォータースライダーFRP取替修繕	1,592

※ 100万円以上の事業 ※ ㊦:岡山県予算による大規模改修等